

株式会社 共伸技研



相談から製造販売まで 工業用チャンネル式ブラシの オーソリテーター

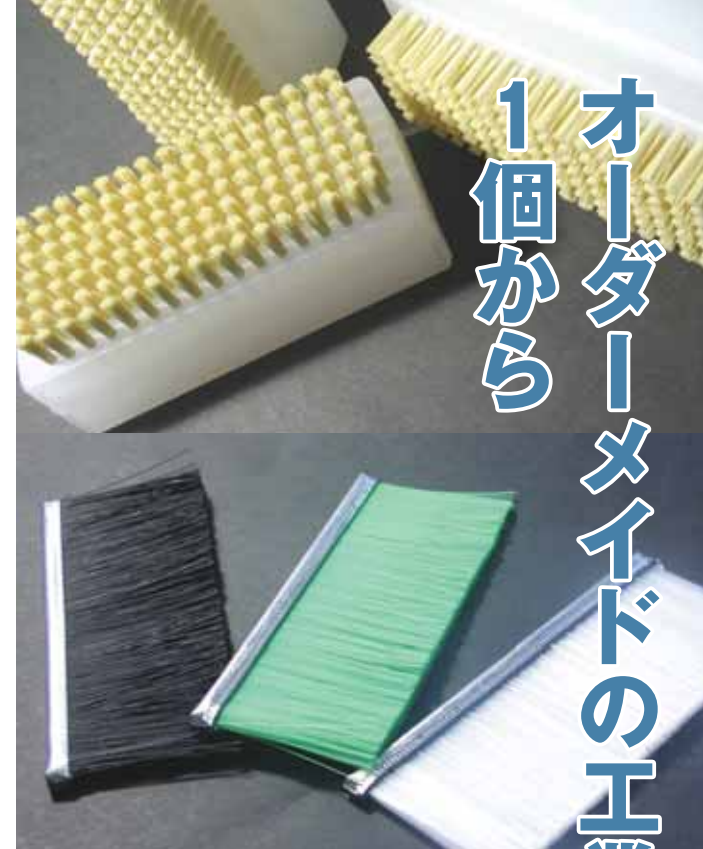
工場内はブラシで満ちている。ベルトコンベアの掃除や部品の洗浄等はもちろんのこと、隙間を塞ぐシール材にも工業用ブラシは用いられている。ものづくりの現場には、たくさん「チャンネル式ブラシ」が潜んでいるのだ。ブラシ部分を植えた後に、曲げたり、ロール状にしたりと加工することが出来るチャンネル式ブラシ。様々な素材を用い、あらゆる形に作り上げられたブラシは、工場内や工作機

械等、ありとあらゆるところで静かに活躍している。

共伸技研の強みは、小ロットへの対応にある。「注文は1個から受けています」と加藤克典社長。用途も使用場所も異なるため、決まった形状やサイズがあるわけではない。100社あれば、100社の目的に対応するブラシを作る必要がある。「実現したい目的のためにはどんな製品を注文すればいいのか分からない方が多いのです。まずは相談して、最適な形状をご提案することになります」。注文先が全国各地に広がっているため、使用する現場を見ることはできない。電話やファクス、メールでのやりとりから必要な機能を汲み取り、最適なブラシを作り出す。注文時の

ロットはほとんどが小ロットであり、一つという注文もあるため、サンプルの送付はできない。そこで、遠隔地からの注文に応えるための工夫も生まれている。「ブラシ部分の素材は、材質のサンプルをいくつか送って選んでもらっています。実際に触ってもらおうとイメージがしやすく、希望に沿った製品が作れるようになりました」。ブラシの素材はナイロンやポリエステル、樹脂、金属、動植物と多岐にわたり、全部で200種にもおよぶ。「ニーズに合わせるうちに増えてしまっただけです」と加藤社長は話してくれ

特殊な製品にも対応



1個から オーダーメイドの工業用ブラシを



お客様の期待を満たすことが、同社の目標。オーダーから納品まで1週間から20日という短納期を実現したほか、顧客の身になったワンストップサービスも実行する。「幅広い注文に自社対応するのはもちろんですが、工業用ブラシのネットワークを利用して、チャンネルブラシ以外の仕事にも対応できるようにしています。「チャンネルブラシ専門ですから、ほかのブラシはできません」ではなく、「工業用ブラシのことなら何でもご相談ください」と言うことで、お客様の利便性を追求しています。「得意なのは、変わった形のブラシ」だという同社。技術力の高さは業界でも認

められ、他社では対応できない注文も回ってくるという。今後の目標は、特殊な形状や素材にも積極的に取り組むことで技術力をさらに高め、より短納期で性能の良いブラシを作ること。また、次世代への技術継承も進める。

「高性能の商品を作るのはもちろんですが、仲間の元気、取引先の笑顔、地域の人の夢がなければいけないと思っています。これからは笑顔で取り組みます」。若い社長の下で、夢は大きく広がる。

主な事業内容

各種チャンネルブラシ、各種工業用ブラシの製造・販売等



加藤克典さん
代表取締役

Company Profile

株式会社 共伸技研

住所 / 〒571-0006
大阪府門真市上馬伏444-3
設立 / 昭和57年10月
資本金 / 1,000万円
従業員 / 22名 (平成21年1月現在)
TEL / 072-885-4344
FAX / 072-885-5931



<http://www.kyoushingiken.co.jp/>